

寅さん歩 その 23

東京の博物館めぐりー37

文京区ー5

平野 武宏



文京区の博物館めぐりの続きで、臨時休館から開館になった博物館を訪問します。区内に多くある博物館(記念館・資料館・展示館等を総称します)から寅次郎の好みで選び、独断と偏見の紹介と感想です。各博物館の詳細を知りたい方は各博物館のホームページをご覧ください。入場料の記載なしは無料です。写真右上は小石川植物園内から見た東京大学総合研究博物館小石川分館です。最寄り駅は代表例と出口です。

バーチャルウォーク「日光道中二十一次」の途中経過も報告します。

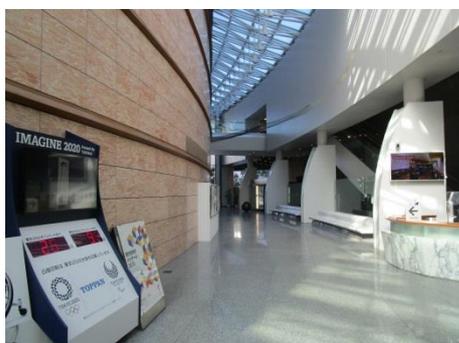
〔印刷博物館〕 文京区水道 1-3-3 トップアン小石川ビル

最寄り駅 有楽町線 江戸川橋駅

凸版印刷の社は台東区台東 1 丁目にあります。創立 100 周年記念事業のひとつとして 2000 年(平成 12 年)に建設された「トップアン小石川ビル」(写真下左)に印刷を専門に扱った本格的な「印刷博物館」があります。コミュニケーション・メディアとして社会の文化、歴史を支えてきた印刷の歴史や役割、並びにデジタル化への進展によって大きく変わりつつある印刷の姿を、古今東西の印刷史料により紹介しています。2020 年 6 月 6 日にリニューアルオープンしましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止で臨時休館、10 月 6 日からオープンです。HPでの事前予約制なので予約して訪問しました。



ビル（写真上左）の右側の張り出しが博物館の入口（写真上右）です。写真下左は入口内、写真下右が印刷博物館入口で入ってすぐのエスカレーターで地下1階へ向かいます。



展示室内は撮影禁止なのでパンフレットの写真（写真下左）です。



広いスペースでわかりやすく・見やすい展示です。人類の発展に大きく貢献してきた印刷の歴史的な役割や意義を社会に発信していくことを目的としているとのこと。日本と世界の印刷の歴史をたどりながら印刷文化の成果や貴重な遺産も見ることが出来ました。

開館は10時～18時、休館日は月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始、その他。入場料は一般300円、大学生200円、中学生100円、70歳以上と小学生以下は無料です。

【東京大学総合研究博物館小石川分館】 文京区白山3-7-1

最寄駅 丸ノ内線 茗荷谷駅

東京大学現存最古の学校建築の「旧東京医学校本館」（1876年創建、重要文化財）を活用した博物館（写真下左は入口の門、右は建物）です。建築ミュージアムとして、常設展示「建築博物誌／アーキテクトニカ」を公開しています。建築模型を中心とする建築学系資料および身体空間にかかわる民俗学系資料などが展示されています。



新型コロナウイルス感染拡大防止で臨時休館していましたが、2020年12月は土・日曜日のみの開館（12月26日・27日は除く）となりましたので訪問しました。以降の開館状況はHPで確認してください。開館は10時～16時30分です。なお、本郷キャンパス構内にある東京大学総合研究博物館（本館）は臨時休館中です。1階の展示は「建築模型」です。写真下左は木造三重塔縮体（1/10）で耐震性能を解明するための実験に使用とのこと。写真下右は世界で有名な建築縮体模型が並びます。



2階は「空間標本」です。建築模型のうち、特に規模が大きいもの、特徴があるものが展示されているとのこと（写真下左）。写真下右は「身体空間（カヌー）」で「民族学標本を展示する二つの身体空間は可動性の民族建築とそれを巻き巻く建築空間の相関性を意識する場となる」と難しい説明が記載。





写真左は博物館分館 1 階から見た小石川植物園日本庭園です。小石川植物園からの専用出口はありますが、ここからは小石川植物園へは入れません。小石川植物園の正門は脇の堀沿いを大きく迂回した最先端にあります。

小石川植物園は江戸時代 幕府の小石川御薬園で園内に養生所があり「赤ひげ先生」がいました。

また「青木昆陽」が甘藷の試作を行った場所です。明治時代に入り、文部省所轄の植物園から東京帝国大学付属植物園になり、現在の正式名称は「東京大学大学院理学系研究科附属植物園」です。梅・桜・紅葉など四季の花も楽しめます。

【こぼれ話】 簸川（ひかわ）神社（氷川明神）



東京大学総合研究博物館小石川分館を出ると右手に立派な神社があり、思わず石段を上がりお参りしました。

説明板には「創建は第五代孝昭天皇の御宇 3 年と伝えられる古社。もとは小石川植物園の地、御殿坂周辺の貝塚の上に鎮座し、八幡太郎源義家公が奥州平定の祈願に参籠した社とされています。

1699 年（元禄 12 年）に現在の高台に移転し、巢鴨の鎮守と定められ江戸名所のひとつに数えられていました。もとは社号に「氷川」を用いていましたが大正時代、神主 毛利昌教が神社の由緒は出雲の国、「簸川」にあるとし、氏子中に諮り「簸川」と改めました」と記載。平和と繁栄の世を開き、福德円満、

商売繁盛、縁結び、文芸の神として信仰されているそうで、寅次郎、手を合わせました。

〔バーチャルウォーク途中報告〕

八柳修之さん作成のバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、「日光道中二十一次」に挑戦、11月25日、日本橋を出立、12月19日現在、日本橋から19番目の大沢宿(現在の栃木県日光市大沢町に位置する)に到着です。

自宅近くにマイお散歩コースを見つけ、その距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」には「ひとりで歩くコーナー」があり、コースが紹介されています。マイお散歩や一人歩きでの距離を累計して進む「バーチャルコース」が多く掲載されていますのでご利用ください。

歩く際は密閉・密集・密接の3密にならないようご注意ください！

また、ウォーキングで人との距離(2m以上)が確保できる場合はマスクを外して、熱中症にご注意ください！

次回は 東京の博物館めぐり-38 です。

平野 寅次郎 拝